

令和5年度

大海小 学校だより

2月号

# おおみ

令和6年1月30日

校長 香林 直晴

## 春に向かって

正月早々の能登半島地震により、3学期のスタートが心配されましたが、大きな影響もなく学校生活が送れていると思います。先日の授業参観にも多数の保護者の皆様に来校していただき、ありがとうございました。今年の冬は、「暖冬」という予報が出ていましたが、大寒(一年で一番寒い時期)を機に寒さが厳しさを増してきました。これから本格的な冬の到来と捉え、寒さに負けず、春(卒業式・修了式)に向かって頑張っていきたいと思っています。

ところで、2月3日は節分(せつぶん)です。暦の上では冬と春を分ける節目の日となっています。この日には、古来より自分の内や外にある禍(わざわい)を鬼に見立てて追い払い、家内安全・家族の健康を願って豆をまく風習があります。一説には、この節分は平安時代に宮中で行われていた悪霊払いの儀式である追儺(ついな)や鬼遣らい(おにやらい)がもとになっていて、今の状況と同じように、疫病退散や人々の平穏な暮らしを願って一般にも広く行われるようになったとも言われています。ところで、豆をまく理由は、様々な栄養が詰まった大豆の力が、鬼を退治するのにふさわしい食品だからとも言われます。一方、日本各地には鬼の伝説のようなものがたくさんあるようで、それぞれの鬼が意味するものも様々です。

今年の節分は、能登半島地震の被災から脱して、日常が戻ってくるように祈りを込めて、「鬼(天災)は外」「福は内」と「豆まき」をして、皆さんの無事を願いたいと思います。



## 2月の生活目標・・・『友だちのよさを見つけよう』

2月は下記の2点を目指して取り組みます。

◎友達の良さを見つける中で、改めて友達のことを知り、より良い人間関係を築く。

◎友達や家族、先生に自分の良い所を伝えてもらい、自分の良さを知り、認めてもらうことで自己肯定感や自己有用感を高める。

自分に自信がもてるように、友だちにも自信をもってもらえるように『よさカード』に友だちへの一言メッセージを書いて色画用紙に貼り付ける活動をします。保護者の方にもお子さんの良いところを書いていただきますよう、よろしくお願いいたします。詳細は、学年だよりでお知らせしますので、ご協力よろしくお願いいたします。



## 2月の学習目標・・・『つなげて話そう』

2月は、各クラスで「意見をつなげる」ことのよさを話し合っ取り組みます。

〈意見をつなげるよさ〉☆人の話を聞く力 ☆自分の考えを伝える力

☆考えが広がる ☆違う考えをもつ・知る ☆考えが深まる

☆話の中心を考えながら話す力 ☆みんなで学び合い、まとめる力

などなど、各学級でいろいろな「意見をつなげるよさ」を出し合ってもらいたいと思います。